

目標達成計画

作成日: 令和2年3月26日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	全体	ご利用者や職員の変動がないため、慣れから基本理念や丁寧な介護から少し遠のいているという気づきの声自己評価の時に多かった。例にあげると入浴の実施だけが優先し、気持ちよい入浴、楽しみな入浴が実施されていたか？夕食後寝られる事ばかりが優先され、夜間のくつろぎや余暇がなかったような？ご利用者の前でも職員同士愛称で呼び合っていた、業務が簡素化するのはいいが、これって誰目線？業務中心？と多くの問題点がある。	ご利用者の尊厳を大切にし、ご利用者本位の日常生活が送れ、笑いのある豊かなホームになる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ユマニチュードの研修を行い、ケアにユマニチュードを取り入れる。 ・初心に戻り丁寧なご利用者目線の介護が出来るような研修計画を立案する。 ・職員1人ひとりがご利用者の暮らしについて考え話合う。(暮らし続ける事の大切さ) 	6ヶ月
2					ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。